

ジェネリック医薬品業界で活躍する成長国

ジェネリック医薬品（後発医薬品）の登場により、近年、製薬業界においても成長国* や新興国の存在感が高まっています。ジェネリック医薬品は特許が切れた医薬品と同じ成分で作られ、開発コストが不必要な分、新薬（先発医薬品）よりも安く提供することが可能です。医薬品業界は高度な技術が必要なことから、かつては先進国が中心でしたが、近年は安価な労働力と高い技術を併せ持つ成長国で発展してきています。

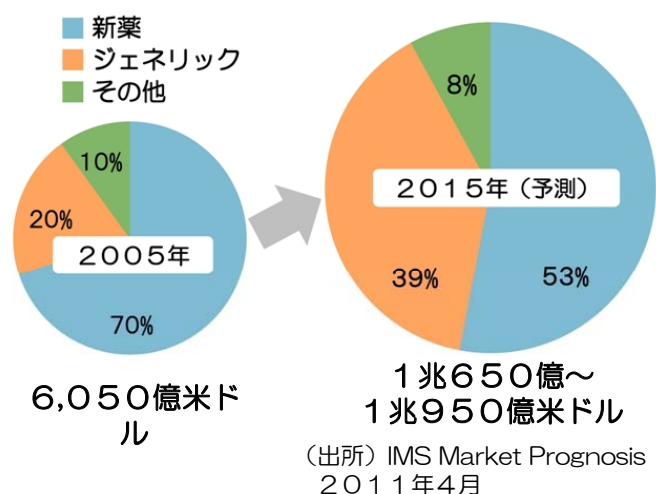
たとえば成長国のひとつであるインドでは、第一三共の子会社で海外ジェネリック医薬品事業の中核を担うランバクシーが、2009年に降圧剤の販売を開始しました。その背景には、食の欧米化に伴う生活習慣病人口の増加があり、今後もこの傾向は続くと予測されています。ランバクシーはさらにロシアやエジプトなどに新工場を設け、今後の成長が期待される新興国への展開も検討している模様です。

米調査会社によれば、世界の医薬品市場は2015年までに約1兆950億米ドルに拡大すると予測されています。なかでも成長国・新興国の市場は倍増し、約3,070億米ドルに達するとの見通しです。一方、近年ではインドの製薬大手が官民一体となって日米欧に本格進出するなど、成長国企業による海外展開も加速しており、需要と供給の両面で成長国・新興国市場の存在感が高まっています。

ジェネリック医薬品市場をめぐる成長国・新興国の動向からは、今後も目が離せません。

* 「成長国」とは、ゴールドマン・サックスが提唱する今後世界経済の成長を牽引するであろう8カ国(ブラジル、ロシア、インド、中国、韓国、トルコ、メキシコ、インドネシア)を指す。

世界の医薬品市場規模



医薬品の使用量

2005年			2015年（予測）		
国名	指数		国名	指数	
1位 米国	100		1位 米国	100	
2位 日本	36		2位 日本	36	
3位 フランス	14		3位 中国	31	6位UP
4位 ドイツ	14		4位 ドイツ	14	
5位 イタリア	9		5位 フランス	13	
6位 英国	7		6位 ブラジル	12	4位UP
7位 スペイン	7		7位 イタリア	9	
8位 カナダ	7		8位 インド	8	7位UP
9位 中国	6		9位 スペイン	8	
10位 ブラジル	5		10位 ロシア	7	6位UP
15位 インド	2				
16位 ロシア	2				

(出所) IMS INSTITUTE
1位=100として指数化

成長国について詳しくはこちらから www.gsam.co.jp